

●家庭と連携した小中一貫教育

甌島の子供たちは、中学校卒業後は親元を離れ生活していくことになります。そこで、上甌中学校区では、9年間で「独り立ち」できる力を身に付けさせるために、「基礎期」「充実期」「発展期」の3つの教育段階における小中一貫指導項目（到達目標）を設定し、家庭と連携を図りながら目標達成に向け取り組んでいます。

1 基本的生活習慣の確立の取組

(1) 小中一貫指導項目『上手に「独り立ち」をむかえるために』の設定

身に付けたいこと	ホップ 基礎期 (小1～4)	ステップ 充実期 (小5～中1)	ジャンプ 発展期 (中2～3)
①あいさつ	じぶんからすすんで、げんきにあいさつをしよう。	心のこもったあいさつをしよう。	時と場に合わせたあいさつをしよう。
②せいりせいとん	つくえのうえやかばんなどをいつもきれいにしよう。	使った物は、元の場所にかたづけよう。	生活しやすいように整理整頓しよう。
③自分でできること	じぶんでできるてつだいをしよう。	家族の一員としてできることを考えてしよう。	進んで仕事をみつければ最後までやりとげよう。
④早ね早おき ねる時こく目標	じぶんでおきよう。 (小1・2) 9時まで (小3・4) 9時半まで	自分で起きよう。 10時までにねよう。	自律起床をしよう。 就寝時刻を守り、生活のリズムを崩さないようにしよう。
⑤メディアコントロール	メディアに関する家族目標（ルール）を守ろう。		

※自分をふりかえり、3だんかいでひょうかしてみよう。(◎-たいへんよい ○-よい △-もうすこし)

(2) 強調週間の設定



家庭での主体的な態度を育むために、子供及び保護者の自己評価で達成率が低かった項目について「〇〇強調週間」を学期1回（年間3～4回）設定し取り組んでいます。また、学校では「〇〇強調週間」として位置づけポスターと自己評価シート等を各家庭に配布し、啓発に取り組んでいます。

★薩摩川内市家庭学習目標時間
10分×学年（1～9年）+30分
1年生（小1）：40分～9年生（中3）：120分

(3) 追跡調査

上甌中学校の卒業生やその保護者に対して、学習状況や生活状況の現状や課題を把握するために、毎年追跡調査を行っています。後輩へのアドバイスやメッセージをまとめたり、アンケートの集計結果を踏まえ指導の工夫・改善を図ったりしています。

(4) 生活リズム調査の取組

校区全体目標を設定し「生活リズム調査」を年4回実施しています。また、この調査結果や分析をもとにしながら、担任や養護教諭が中心となり、よりよい児童生徒の生活習慣の定着のために、個別指導や全校一斉指導を行うようにしています。



【生活リズム調べ（小学生用）】

【生活リズム調査（中学生用）】

(5) 「はつらつかみこしき」の発行



【はつらつかみこしき】

年3回、小中合同の保健だより「はつらつかみこしき」を発行しています。生活リズム調査結果等から、その都度気になる課題を取り上げ、児童生徒の心身の健全育成をめざしています。

(6) 小中合同学校保健委員会の実施



【合同学校保健委員会】

「メディアコントロールのできる子供の育成をめざして」をテーマに、異学年の子供をもつ保護者同士が共通の健康課題について発達の段階を踏まえながら意見・情報の交換を行いました。今後も保護者と連携を図りながら9カ年のスパンで子供の健康について考える機会を作っていきます。

●職員の指導力向上体制確立のための取組

(1) 合同研修会（年7回）



【合同研修会の様子】

小中学校職員合同研修会を実施し、組織体制の確認と活動内容について共通理解を図っています。また、必要に応じて「ふる・コミュ」研究部、「学習指導」研究部、「生活指導」研究部等の部会を開催し、課題解決に努めています。

(2) 小中一貫教育研究公開や講演会等へ積極的な参加

平成29年度は、小中一貫教育全国サミットをはじめ、薩摩川内市小中一貫教育研究公開など鹿児島県内外の小中一貫教育の研修に複数回参加しました。今後の取組に生かすよい機会となりました。

小中一貫教育の取組については、「学校だより」「学校ホームページ」等を通して、保護者、地域の皆様にお知らせしています。今後とも御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

平成30年度

上甌中学校区

小中一貫教育

～9年間を見通した「独り立ち」の教育～

平成30年4月 上甌中学校卒業生「島立ち」



上甌中学校



中津小学校

〒896-1201
上甌町中甌191番地1
TEL: 09969-2-0014
FAX: 09969-2-0041
HPアドレス
<http://www.edu.satsumasendai.jp/kamikoshiki-j/index.html>

〒896-1201
上甌町中甌254番地
TEL: 09969-2-0013
FAX: 09969-6-1632
HPアドレス
<http://www.edu.satsumasendai.jp/nakatsu-e/>

★薩摩川内市

教育目標

ふるさとを愛し心豊かにたくましく生きる薩摩川内のひとりづくり
未来をたくましく生きる力（豊かな心・確かな学力・たくましい体）をはぐくむ教育の推進
小中一貫教育のねらい

小中学生の交流活動や小中学校教員の授業交流を通して

- 小学生には、中学生へのあこがれをもたせ、中学校生活への意欲を高めます。
- 中学生には、小学生との関わりを通して、リーダーシップ力を高め、中学生としての誇りと自信をもたせます。
- 教員は、相互に協力し学び合うことで、自らの教育観をより豊かにし、指導力の向上を図ります。

★上甌中学校区

●小中一貫教育の目標

独り立ちに向け、自らの生き方を主体的に切り拓く上甌の子供の育成

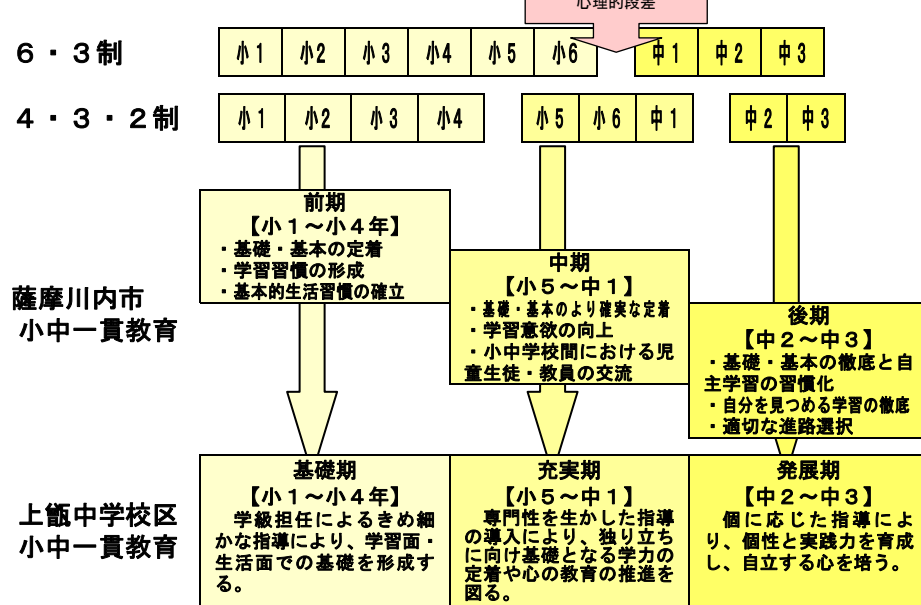
●小中一貫教育のねらい

- 小・中学校が9年間を見通した連携を深め、「独り立ち」に向け、子供の多様な資質や能力を伸ばす学習指導や心の教育・生活指導と関連付けた「生き方」指導の確立をめざします。
- 小・中学校の連携を図り、共通の学力観・指導観に基づく継続的かつ一貫性のある学習指導・生活指導の実践研究を行うと同時に、家庭との連携を図りながら基礎・基本の確実な定着と学力向上及び基本的な生活習慣の確立をめざします。
- 校種の垣根を越えた、小・中学校合同異年齢集団による活動や地域理解、及び、社会貢献に関わる活動を通して、豊かな人間性や社会性の育成をめざします。

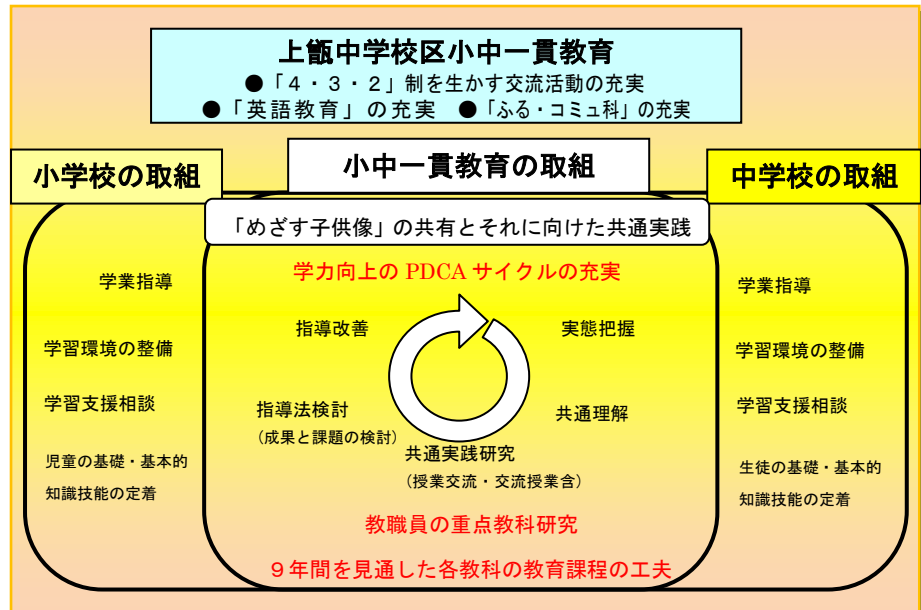
●小中一貫教育研究テーマ

「独り立ちに向け、9年間を見通した教育の在り方について」
～自ら考え、判断し、思いを表現できる児童生徒の育成をめざして～

●4・3・2制の教育段階のとりえ方



●学力向上に向けた指導体制



●学校における小中一貫教育

1 学力向上のための取組

(1) 共通実践研究の様子

ア 言語活動を位置づけた授業づくりの取組



【国語科】

普段の授業や授業交流の中に思考力・判断力・表現力等を高める論理的思考モデルを活用し、ペアやグループによる話し合い活動や発表などに取り組んでいます。

イ 通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた取組



【合同研修会】

特別支援教育委員会や合同研修会等を通して個々の支援の工夫・改善を図っています。実態を把握するため、各種検査結果の分析を小中職員合同で確認し、指導の方向性を定め、個に応じたきめ細かな指導と支援に取り組んでいます。

(2) 授業交流の取組

ア 小学校教諭が中学校へ



【数学科】

イ 中学校教諭が小学校へ



【社会科】

児童生徒に対して、各教科、学力向上に効果的な単元と時期を検討し、授業を設定しています。また、小中の教諭の専門性を生かす授業づくりに取り組んでいます。

(3) 交流活動の様子（平成29年度）



【上甌幼小中合同大運動会】



【郷土料理教室】



【自分デザイン発表会】

運動会やふるさと・コミュニケーション科などの学習活動を通して学び合いを深めています。

(4) 教科部会の様子



【検査結果の情報共有】



【重点指導項目の検討】



【授業交流】

各種検査結果の分析から学力・学習状況を教科担任で検討し、実態を共有しています。また、9年間を見通した指導計画と単元一覧表の見直しを行い、児童生徒の実態に即した教科の重点指導内容について共有し、授業に生かしています。

2 「英語教育」の充実についての取組

(1) 内容

小学校では、JTE（中学校英語教諭）、ALT（外国語指導助手）、EST（英語の堪能な地域の方）と学級担任が連携し、英語活動を実施しています。9年間の英語教育において、小学校3・4年生では「コミュニケーション能力の素地」、5・6年生では「コミュニケーション能力の基礎」、中学校では「コミュニケーション能力の資質・能力」の育成に努めています。

(2) 活動の様子



【中学校教諭との授業】



【ALTの活用】



【ESTの活用】

小学校 年間授業時数		
英語活動 低学年：10時間	外国語活動 中学年：35時間	外国語 高学年：70時間

3 「ふるさと・コミュニケーション科」の取組

(1) 内容

郷土との関わりを通して、コミュニケーション能力や表現力を育み、将来、ふるさとを愛し誇りに思う子供を育成します。

〈ふるさと・コミュニケーション科で育てたい3つの資質・能力〉

- A 知識及び技能
- B 思考力・判断力・表現力等
- C 学びに向かう力・人間性等

3つの資質・能力を身に付けることが、同時に各教科の授業における言語活動の充実や個（児童生徒）の学力向上に繋がると考えています。

(2) 全体計画（平成30年度）

		『郷土と自分』 郷土・生活に関する分野	『自分の将来』 進路・生活に関する分野
発展期	中3	○故郷への感謝 ・卒業へ向けての取組 ○クローズアップ甌島 ・福祉体験活動等 ○いきいき表現・弁論・上中祭への取組・学校新聞の発行等	○独り立ちに向けて ・上級学校説明会 ・ソーシャルスキルトレーニング ・保健・防犯講話等
	中2	○クローズアップ甌島 ・福祉体験活動等 ○いきいき表現・弁論・上中祭への取組・学校新聞の発行等	○職場ウォッチング ・職場体験活動等 ○自分デザイン（小3・4との交流）
充実期	中1	○ふるさと上甌（福祉） ・充実期交流活動 ○いきいき表現・弁論・上中祭への取組・学校新聞の発行等	○インタビューをしよう ・職場訪問を通して ○ようこそ後輩（小5・6との交流）
	小5	○ふるさと上甌（福祉） ・郷土料理・自然体験活動	○地域に役立つ活動 ・将来のことを考えよう等
基礎期	小4・3	○上甌の自然めぐみ ・カヌー体験活動 ・地域の方との交流	○ぼく・わたしにできること ・半成人式（中2との交流） ・社会でのマナーやルール
	小2・1	○A年度「平良・浦内」 B年度「中甌・江石」を支える人 ・高齢者との交流	○幼稚園のお友達に教えよう ・園児との交流 ・交流給食等

(3) 活動の様子（平成29年度）



【園児との交流（基礎期）】



【ふるさと上甌（充実期）】



【上級学校説明会（発展期）】